

2つの施策で農家の皆さまを支援します！

施策1 肥料価格の値上げ対策

世界的な肥料原料の値上げに伴い、令和3年7月1日より肥料価格が改定となりました。当JAでは、7～11月に売上の多い5品目について、**独自の価格を設定**することで、生産コストの低減に努めます。

支援額
約500万円

種類	品名	種類	6月までの価格 ①	7月からの価格 ②	当JAの価格 ③	値引き額 ③-②
土壌改良資材	ケイカル粒	フレコン (200kg)	8,351円	11,060円	9,600円	▲1,460円
	ケイカル粒	20kg	836円	1,100円	960円	▲140円
小麦肥料	JA兵庫西 小麦専用2288		3,244円	3,500円	3,370円	▲130円
	小麦用LP41		5,207円	5,410円	5,300円	▲110円
野菜肥料	JA兵庫西 ニューやさい1号		2,341円	2,570円	2,450円	▲120円

※その他品目については、最寄りの営農生活センターへお問い合わせください。

(税込)

さらに、パソコン・スマートフォンから「**ネット購買システム**」でご注文いただくと、**通常価格より最大5%引き**となります！ぜひご利用ください。

施策2 ライスセンター利用出荷米に対する還元

令和3年度より新たに、ライスセンター利用の出荷米に対して**1袋(30kg)あたり200円**の利用奨励を行います。

還元額
約2,600万円

詳しくは最寄りの営農生活センターへお問い合わせください。

【農作業ひとくちメモ】

夏野菜の栽培から秋冬野菜への切り替えを

春夏野菜は多少スタートが遅れても、管理によってある程度の生育を調整できますが、秋冬野菜は気温が下がる頃に育てるので、スタートが遅れると大きくならないうちに寒くなってしまい、生育が止まったり、結球しなかったりすることがあります。

まだ収穫できる夏野菜が畑にあると、「もったいない」と思ってしまうますが、良質な秋冬野菜の栽培に備え、適当な時期に夏野菜を片付けることも大切です。残った根や茎葉はきれいに片付け、アルカリ性のもので中和するため空いたところに石灰などをまいて、できるだけ深く耕しておきましょう。

